

第62期 株主通信

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで(第2四半期累計期間)



三滝山秋色 1957年(昭和32年) 西川一平(前会長)

株主の皆様へ



代表取締役社長
西川 正洋

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第62期第2四半期累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期累計期間における当社グループを取り巻く環境は、アジア新興国の経済成長や各国政府による景気対策などにより世界経済は緩やかな回復を見せているものの、欧米諸国における先行き不透明感の強まりや急激な為替変動など厳しい状況が続いております。また、国内においては、海外経済の回復や景気対策の効果に支えられ一部で景気回復の兆しが見られるものの、雇用情勢などは依然として厳しく、個人消費の低迷や急激な円高、株安などによりデフレ状況は継続し、先行き不透明な状況で推移しました。一方、自動車部品業界におきましては、以上のような国内外経済環境、エコカー補助金の駆け込み需要なども影響し、世界的な需要減退の影響により大きく落ち込んだ前年同期を大幅に上回って推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間における連結業績につきましては、世界的な自動車生産台数の増加が大きく寄与し、売上高は263億70百万円（前年同期比28.6%増）となりました。利益につきましては、西川ゴムグループ総コスト低減活動を推し進めた結果、営業利益は24億54百万円（前年同期比278.6%増）、経常利益は31億28百万円（前年同期比237.2%増）、四半期純利益は21億39百万円（前年同期比40.7%増）となりました。第2四半期末配当金につきましては、当第2四半期累計期間の業績、安定配当の継続などを勘案し1株当たり10円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、国内外の厳しい雇用情勢、為替変動や国内デフレ経済の長期化など、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われます。

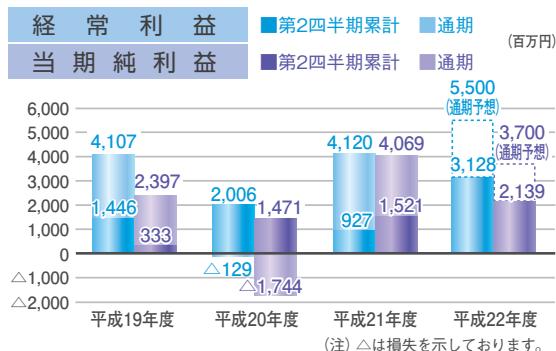
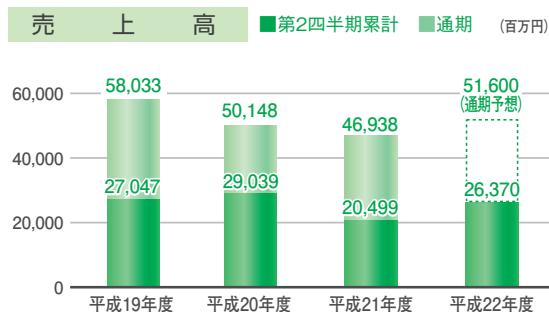
こうした状況のもと当企業集団は、引き続き主要製品の拡販、グローバルな受注活動を展開することで売上を拡大するとともに、当社グループをあげての原価低減活動をさらに強力に推進することで、収益確保を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 西川 正洋

連結財務ハイライト



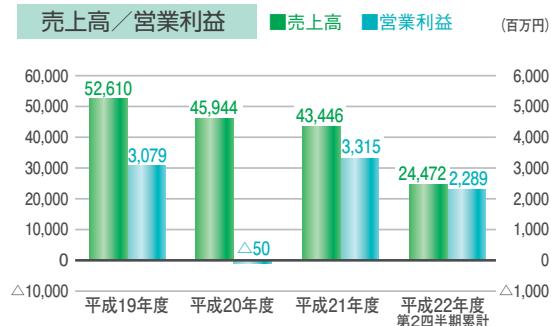
Results by Segment

セグメント概況

自動車用部品

世界的な自動車メーカーの需要増により大幅な伸び

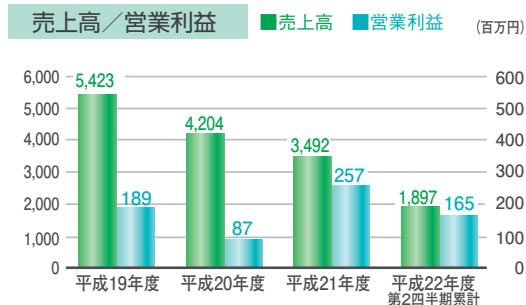
世界的な自動車生産台数の増加が大きく寄与し、売上高は244億72百万円となり、営業利益は22億89百万円となりました。



一般産業資材

住宅関連や土木事業の増加により増収増益を達成

住宅着工戸数および土木事業などの増加により、一般産業資材の大きな需要増加となった結果、売上高は18億97百万円となり、営業利益は1億65百万円となりました。



今回の特集で取り上げるのは、当社グループが持つ16ヵ所の生産拠点のうち主力工場として活躍する白木工場と三原工場です。また、当社グループの教育訓練施設であるNishikawa Training & Education Center (NTEC)についてもご紹介いたします。

白木工場

常に生産性の向上を目指すとともに
高度な加工技術を追求

白木工場は、1963年にスポンジゴムの専門工場として操業を開始しました。現在は原材料の精練から押出、成形、仕上げまでの工程で生産を行っています。敷地内には生産工場のほか、生産技術部、関連工場、また2007年度から教育訓練施設（NTEC）が併設されています。

生産品目は「ウェザーストリップ・ドアウター」をはじめ、加工難易度の高いコンパチブル用シール材やサンルーフ用シール材などがありますが、特徴的な製品として自動車内の遮音性を高める「ドアホールシール」という発泡ゴムシートシール材も生産しています。

近年当工場では、老朽化した生産設備の統廃合を積極的に進めています。この設備の集約化により金型段替えて成形機の稼働率が上がり、設備投資の抑制に繋がりました。その他、スペースの創出などの好結

三原工場

セル生産方式による多品種少量の生産体制を確立し
リードタイムの大幅短縮化を実現

当社グループの生産拠点で最も東に位置する三原工場は、押出工程と仕上げ工程の設備を備えています。主に大手自動車メーカー向けにドアウェザーストリップなどを生産しているほか、一部、住宅用ガスケット（外壁と内壁の間のすき間材）などの生産を手がけています。

2005年からは、コンベア方式の生産体制に加え、セル生産方式を新たに採用しました。これは一人の作業員が屋台状の作業ステージで製品を一貫して組み立てるもので、多品種少量の生産にフレキシブルに対応することが強みです。セルには作業手順をリアルタイムで表示するナビゲーション（以下セルナビ）・モニターが設置しており、これを見ながら作業することで、非熟練者でも手順を間違えることなく正確に組み立てることができます。2007年にはセル生産方式による量産ラインを確立し、生産性の向上に貢献しています。

果もたらし、それらはいずれも生産性の向上に貢献しています。

また、物流体制の見直しおよび出荷指示化を推進してきたことで、滞在在庫の削減を図るなどキャッシュ・フロー経営を強く意識した工場となっています。

白木工場は環境保全にも積極的に取り組んでいます。今年度はボイラーの燃料をA重油からLPG（液化石油ガス）に切り替え燃焼効率を上げることで、CO₂排出量の削減が可能となりました。今後も時代をリードする生産拠点として、収益力の高い工場を目指します。



現在、セル生産方式が本格化して3年が経過し、作業員とセルナビがうまく共生（情報意思疎通）することで、人材力と技術力が向上し、保証度の高い、また異常のわかり易い工程が実現できています。

モノづくりの根幹である生産リードタイムは、このセル生産方式を拡大することで、1.3日（2007年度対比で約1/3）と大幅に短縮できました。

今後は時代変化に対応すべく、自工程完結の活動を推進しながら、あらゆる変動に強い生産体質の工場を目指していきます。



—教育訓練施設—

Nishikawa Training & Education Center (NTEC)

座学教室と訓練道場で 標準化された教育を実施 特に新人の早期戦力化に大きく貢献

白木工場内に設置されている「Nishikawa Training & Education Center (NTEC)」は、2007年11月の建物完成以来、当社の技術・技能の訓練場所として機能しています。

当施設では押出機や裁断機、成形機など量産ラインとほぼ同じ設備を揃え、生産作業の訓練をはじめ、工程管理、品質管理、安全・衛生管理に至るまで総合的に学ぶことができます。一つの施設の中で経営理念などの座学と、モノづくりの実技の両方を行うことができ、新人教育に欠かせない教育施設といえます。

現在、新規採用者や外国人研修生をはじめ関係会社・社外従業員へも教育を行っているほか、従業員のスキルアップ研修や監督者教育も実施しています。開設以来、累計の受講者数は1,129名（2010年9月末現在）に及び、新人の早期戦力化や技術・技能の伝承につながっているほか、全社規模での生産技術の標準化に貢献しています。また、研修をきっかけに安全作業に対する意識が一層向上し、災害の発生が減少するといった成果も上げています。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	35,238	32,484
固定資産	30,772	31,833
有形固定資産	18,674	19,615
無形固定資産	744	759
投資その他の資産	11,353	11,459
資産合計	66,010	64,318
負債の部		
流動負債	16,163	15,787
固定負債	11,250	11,019
負債合計	27,414	26,807
純資産の部		
株主資本	40,496	38,552
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,660	3,660
利益剰余金	33,899	31,955
自己株式	△428	△427
評価・換算差額等	△2,029	△1,165
その他有価証券評価差額金	598	1,120
為替換算調整勘定	△2,627	△2,286
新株予約権	9	10
少数株主持分	119	113
純資産合計	38,596	37,511
負債純資産合計	66,010	64,318

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	26,370	20,499
売上原価	20,643	16,970
売上総利益	5,726	3,529
販売費及び一般管理費	3,272	2,881
営業利益	2,454	648
営業外収益	888	522
営業外費用	214	242
経常利益	3,128	927
特別利益	3	101
特別損失	252	4
税金等調整前四半期純利益	2,879	1,025
法人税、住民税及び事業税	600	60
法人税等還付税額	—	△125
法人税等調整額	132	△431
少数株主損益調整前四半期純利益	2,146	—
少数株主利益	7	1
四半期純利益	2,139	1,521

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,663	2,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,851	△1,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△327	△148
現金及び現金同等物に係る換算差額	△193	111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291	529
現金及び現金同等物の期首残高	9,872	9,856
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,164	10,386

会社概要

会社概要 (2010年9月30日現在)

社名	西川ゴム工業株式会社
英文社名	NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD.
設立(創業)	昭和24年4月(昭和9年12月)
資本金	33億6,448万660円
従業員数	1,283名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車用部品 ゴム・樹脂シール製品、内外装製品等 ●一般産業資材 住宅関連製品、土木関連製品、化粧用パフ、 建機用ゴム製品、医療用ゴム製品等

西川ゴムホームページ <http://www.nishikawa-rbr.co.jp>

ナチュラル販売ホームページ <http://natulove.com>

役員一覧 (2010年9月30日現在)

代表取締役社長	西川正洋
代表取締役副社長	山本文治
専務取締役	児玉照三
常務取締役	三好修仁
常務取締役	勝丸幹夫
常務取締役	高杉雅信
取締役	西川泰央
取締役	佐々木智久
取締役	福岡美朝
取締役	米山昌一
取締役	片岡伸和
取締役	丸目義博
常任監査役(常勤)	濱本繁樹
社外監査役	加藤寛
社外監査役	白井龍一郎

国内拠点 (2010年9月30日現在)

本社	広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
広島営業所	広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
大阪営業所	大阪府大阪市中央区伏見町二丁目6番6号 ザ・タナベビル6階
名古屋営業所	愛知県刈谷市築地町五丁目7番地1
東京営業所	東京都世田谷区若林一丁目18番10号 みかみビル11階
浜松営業所	静岡県浜松市中区常盤町145番地1 浜松MHビル7階
宇都宮出張所	栃木県宇都宮市元今泉三丁目7番21号
山口出張所	山口県下関市長府扇町4番地1
安佐工場	広島県広島市安佐北区安佐町大字久地3723番地1
吉田工場	広島県安芸高田市吉田町吉田1489番地23
白木工場	広島県広島市安佐北区白木町大字三田9531番地
三原工場	広島県三原市沼田西町小原200番地39

海外拠点 (2010年9月30日現在)

アメリカ

Nishikawa Standard Company, LLC

Headquarters:
324 Morrow Street, Topeka
IN 46571 USA

Novi Office:
39550 Orchard Hill Place Drive Novi
MI 48375 USA

Nishikawa of America, Inc.

39550 Orchard Hill Place Drive, Novi
MI 48375 USA

タイ

Nishikawa Tachaplalert Rubber Co., Ltd.

399 Moo 3 Ratchasima-Chokchai Rd.
Thumhol Nuongbuasala
Amphur Muangnakornratchasima
Nakornratchasima 30000 Thailand

インド

Anand Nishikawa Co., Ltd.

Plot No.32 Huda Sector-18
Gurgaon-122002 Haryana, India

中国

上海西川密封件有限公司

上海市松江区玉樹路1216号
〒201600

広州西川密封件有限公司

広州市花都区汽車城東風大道東側
〒510000

西川橡膠(上海)有限公司

上海市長寧区仙露路88号太陽廣場E2701
〒200336

メキシコ

Cooper Standard Automotive Sealing de Mexico S.A. de C.V.

Av. Mexico No.101 Parque Industrial
San Francisco
San Francisco de los Romo
Aguascalientes C.P.20300 Mexico

イギリス

Nishikawa Rubber Co., Ltd. Europe Branch

Cooper Standard House
Redgrave Close Parkway
Cross Point Business Park
Coventry CV2 2UU UK

株式情報・株主メモ

株式情報 (2010年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 **48,343,000株**

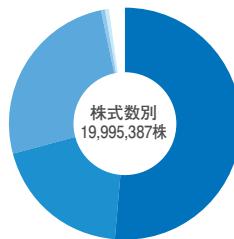
発行済株式の総数 **19,995,387株**

株主数 **1,356名**

株主構成比率



1,125名 (82.98%)	個人その他
179名 (13.20%)	その他法人
24名 (1.76%)	金融機関
19名 (1.40%)	外国法人
8名 (0.59%)	証券会社
1名 (0.07%)	自己名義株式



10,302,210株 (51.51%)	個人その他
3,909,216株 (19.55%)	その他法人
5,129,199株 (25.66%)	金融機関
124,000株 (0.62%)	外国法人
109,598株 (0.55%)	証券会社
421,164株 (2.11%)	自己名義株式

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

一単元の株式数 1,000株

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

ホームページURL <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 日本経済新聞に掲載する

株式に関する住所変更等のお届出先および照会先 〈証券会社に口座を開設されている株主様〉口座のある証券会社
 〈証券会社に口座を開設されていない株主様〉上記電話照会先

単元未満株式(1,000株未満の株式)をお持ちの株主様へ

当社の株式は1,000株が1単元(売買単位)となっており、1,000株に満たない株式(単元未満株式)は市場で売却することができません。

単元未満株式は当社に対して買取請求(売却する)または買増請求(買増して1,000株にする)ができますので、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

〈証券会社に単元未満株式をお持ちの株主様〉 口座のある証券会社
 〈特別口座に単元未満株式をお持ちの株主様〉 上記電話照会先

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり(株式会社証券保管振替機構)」を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記住友信託銀行株式会社に特別口座を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更などのお届出は、上記電話照会先をお願い申し上げます。

<具体例>

